



博物館
For School



メールマガジン

山口県立山口博物館

2016年2月号

◆ 屋外展示を見てみませんか。

山口博物館の周辺にはさまざまな屋外展示があります。展示室は工事のため閉館中ですが、パークロードを訪れた際には、以下に紹介する野外展示に、ぜひお立ち寄りください。

① ロックマップ

博物館から県埋蔵文化財センターへの遊歩道の途中にある広場には、山口県の地盤をつくっている岩石を使って、作った「ロックマップ」(写真①)があります。自分の住む地域はおもにどんな岩石でできているのかを、すぐに知ることができます。

また、地図と凡例も現地に掲示してあります。

さらに調べたい人は、国立研究開発法人産業技術総合研究所の作成した「地質図ナビ」[https://](https://gbank.gsj.jp/geonavi/)(下行に続く) gbank.gsj.jp/geonavi/を参考にすると面白いです。



② 移設した古墳群や化石など

博物館周辺には、石棺や化石、蒸気機関車などの屋外展示群があります。山口市白石茶臼山石棺墓群(写真②)は、弥生時代終末期から古墳時代前期にかけての石室形態の変化を見学できます。遺跡は山口盆地の中央部にのびる鴻ノ峰山麓南支丘の末端部に立地していました。

1968(昭和43)年の宅地造成の際に計9基の箱式石棺が発見され、当館の敷地内に移設されました。

他、山口市赤妻古墳出土の刳抜式舟形石棺や、豊北町特牛の「二枚貝化石」、秋芳町秋吉台の「ウミユリ化石」、下関市吉母の「カキ化石」の入った岩石等が展示してあります。



③ 植物の解説プレートの設置

昨年からは博物館周辺の植物について、名前と解説を記したプレート(写真③)を付けて、散策される人が気軽に植物の名前や特徴を知ることができるようにしました。

ぜひ植物図鑑等をもって博物館の森を散策してみませんか。今まで知らなかった植物との素晴らしい出会いがあるかもしれません。



◆今年の夏、再オープン予定です！

現在、県埋蔵文化財センターにて、サテライト展示『これってなあに？七つの物語展』を行っています。期間は、2月29日（月）まで（土・日休館）となっています。右の写真は、現在のハードディスク装置にあたる「磁気ドラム」です。車のエンジンと見間違えそうな作りですが、時代とともに少しずつコンパクトになっていき、情報機器の変遷を見ることができます。ぜひおいでください。



磁気ドラム

◆これからのイベント予定とお知らせ

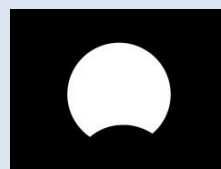
化石レプリカ作り

内容：古生代・中生代・新生代の化石のレプリカ作り
日時：3月6日（日）13:30～15:30 場所：当館（別館）
対象：一般（定員20名）【要申込】山口博物館のWEBを参照



日食を見る会

内容：部分日食の観察
日時：3月9日（水）9:40～11:40 場所：当館屋上
対象：参加自由



木星を見る会

内容：木星などの星空観察
日時：3月12・13日（土・日）19:30～21:30 場所：当館屋上
対象：参加自由



サイエンストーク

～なぜなに！？博物館講座

内容：学芸員によるミニトーク
日時：3月20日（日）13:30～15:00 場所：当館（別館）
対象：一般（定員20名）【要申込】山口博物館のWEBを参照



◆展示室の再オープンのお知らせ◆

展示室の再オープンは、**7月中旬**を予定しています。昨年からはじめた「理科自由研究の進め方教室」のほか、社会見学や遠足、職場体験学習、7つの各専門分野の館内講座、観望会、地質巡検など、子どもたちの心に残る体験として、来年度も引き続き、どうぞ積極的に御利用ください。

■お問い合わせ■

詳しくは山口博物館のホームページ（For School）を御覧ください。

<http://www.yamahaku.pref.yamaguchi.lg.jp/>



山口県立山口博物館

〒753-0073 山口市春日町 8-2

TEL 083-922-0294

FAX 083-922-0353